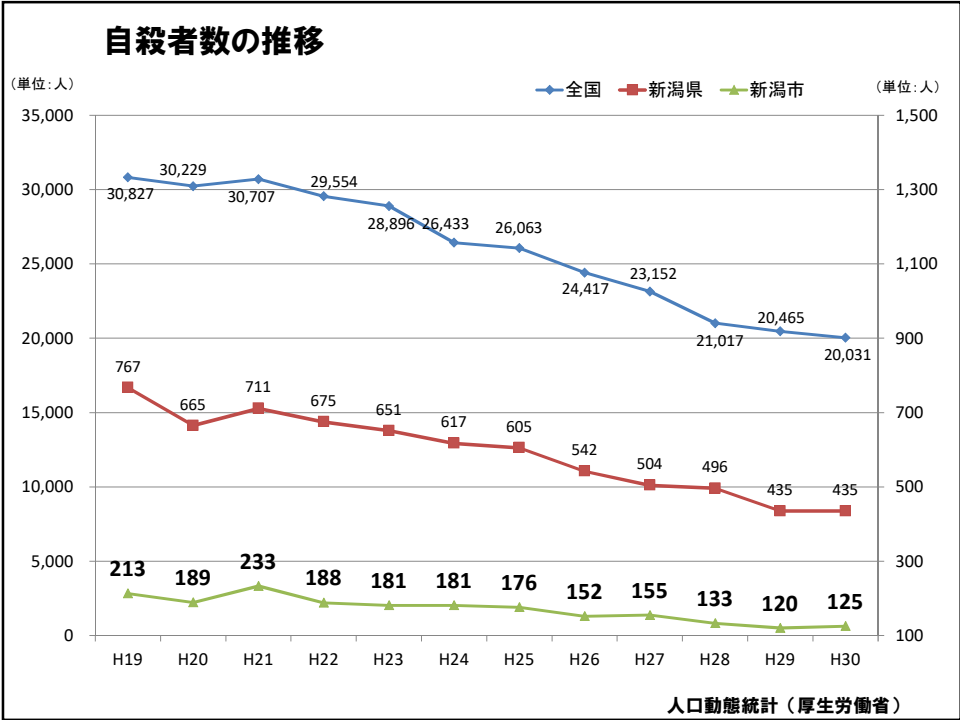
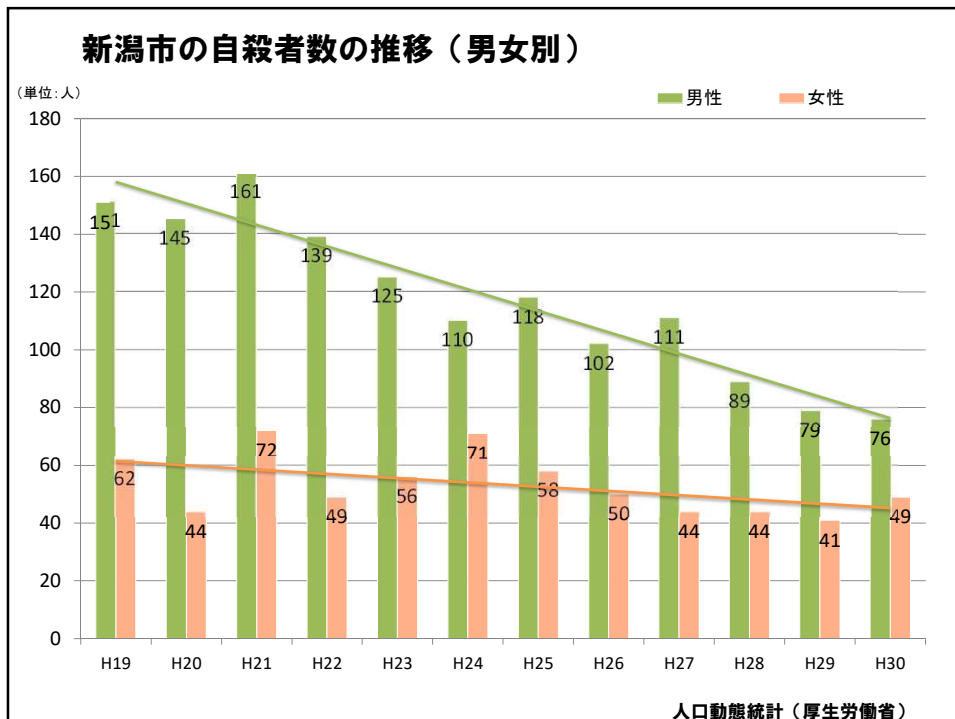
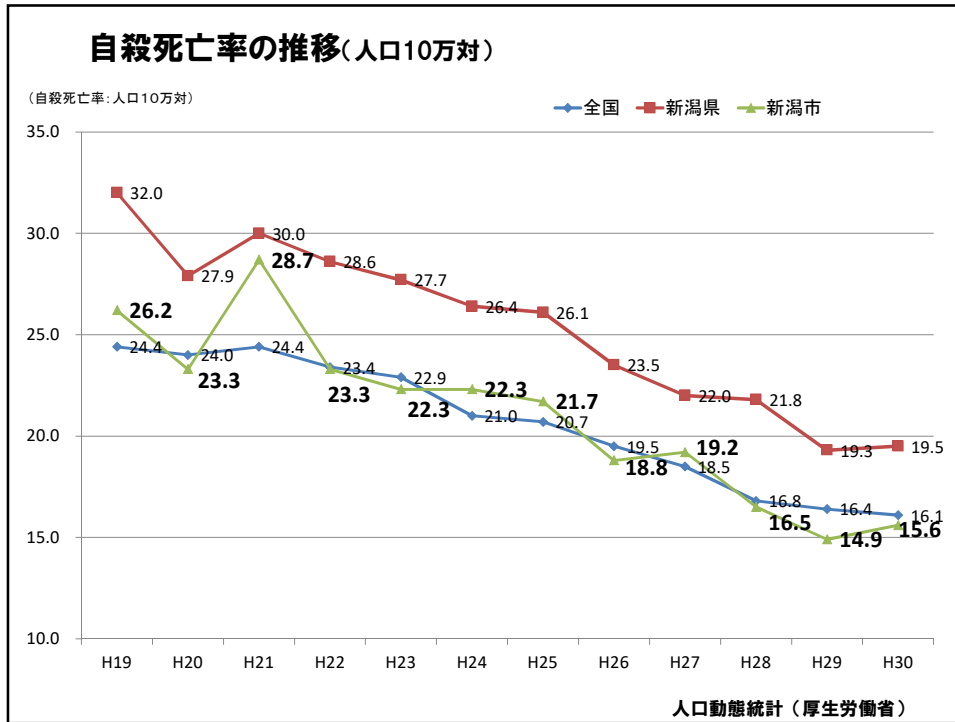
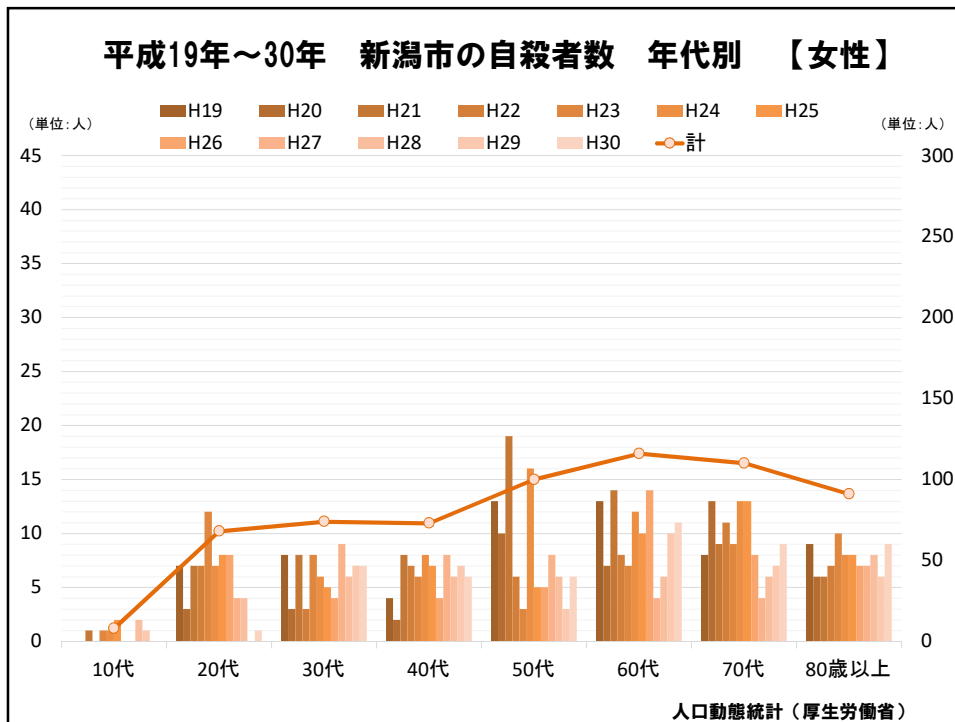
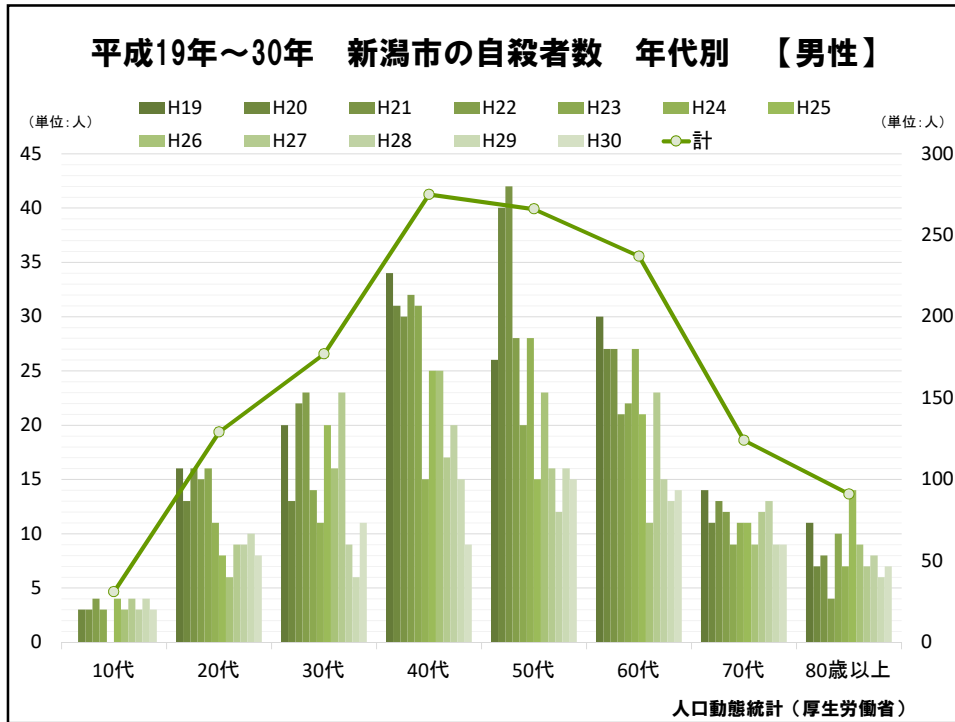


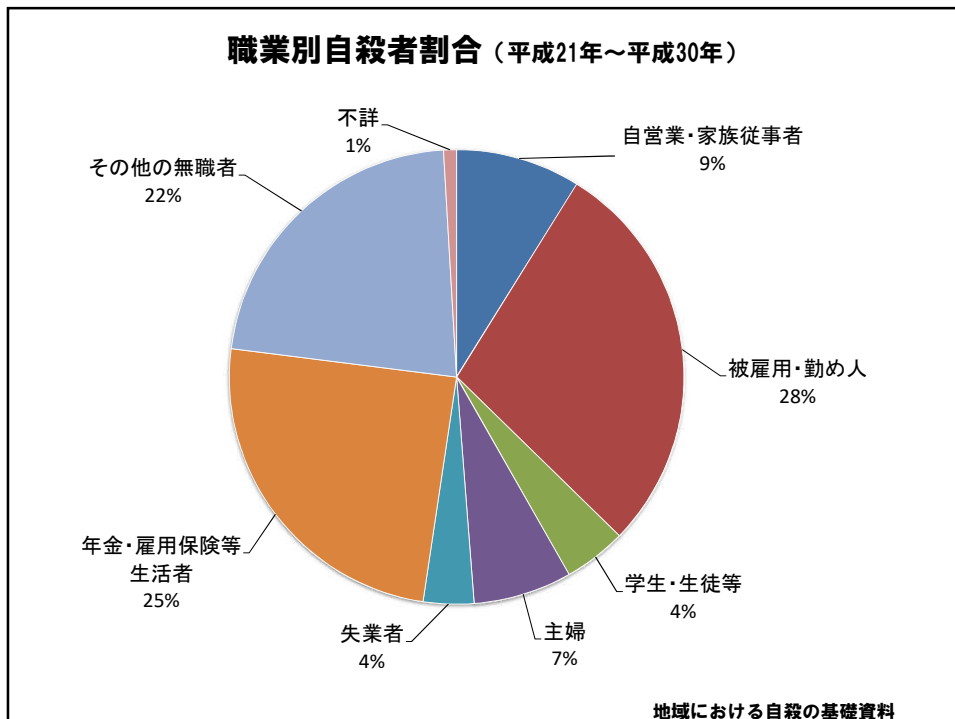
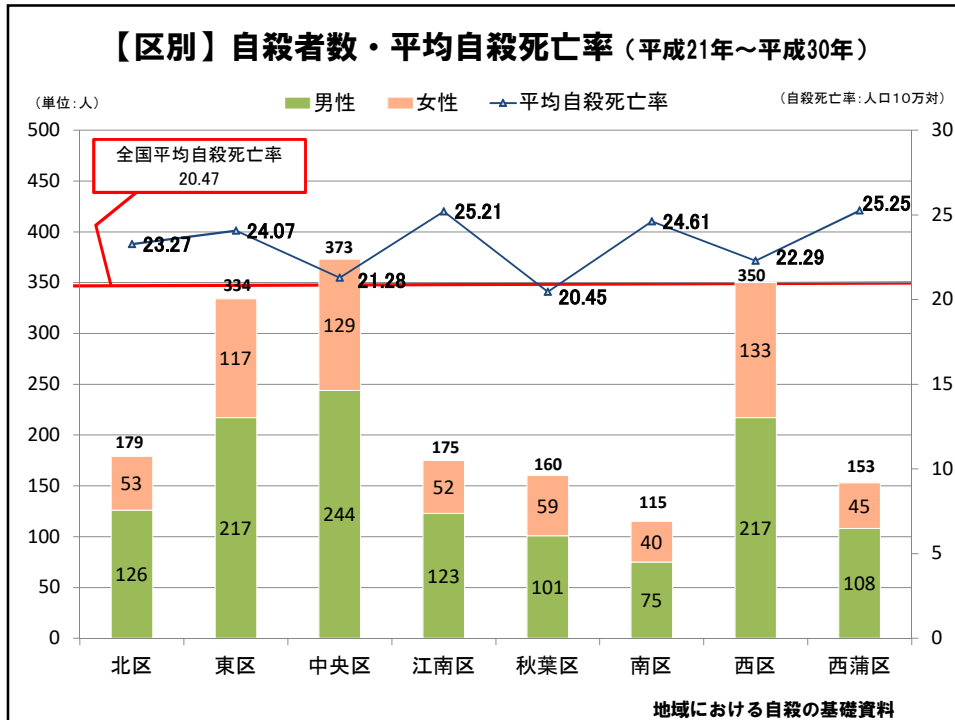
# 新潟市の自殺関係統計

新潟市保健衛生部  
こころの健康センター  
いのちの支援室









自殺総合対策事業概要(平成28年度～令和元年度)

事業No.	令和元年度 (新規・継続・拡充)	事業名	事業概要	実績				現状と課題
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(11月末現在)	
相談支援事業	1	継続	自決未遂者再企図防止事業 救命救急センター・警察・消防・生活保護担当者等から紹介された自決未遂者及び家族等に対し、面接・訪問・電話等により支援を行う。 また、関係機関等と連絡調整を行い、地域における支援のネットワークを構築する。	実人数:46名 (うち新規31名) 延相談件数:931件	実人数:39名 (うち新規15名) 延相談件数:807件	実人数:47名 (うち新規31名) 延相談件数:987件	実人数:48名 (うち新規23名) 延相談件数:407件	【現状】 新潟市民病院、新潟大学医歯学総合病院からの紹介が70%以上を占めている。年度が替わるたびに事業説明を行うことで事業が周知されてきており、また、ケース連絡等を通して、関係機関との連携も図られてきている。しかし、継続した専門相談員の確保が難しい。 【課題】 ・本人が支援を希望せず、支援につながらなかったケースのフォロー ・専門相談員の確保及び資質向上
	2	継続	こころの健康や借金等の問題に、弁護士・保健師・薬剤師・精神保健福祉相談員等が対応するワンストップの総合相談会 ・定例会…毎月第3金曜日 17時30分～20時30分 ・拡大日…9月、3月 第3金曜日 14時30分～20時30分 ・区開催日…9月 西区、3月 東区 13時～17時	開催回数:13回 延相談人数:87名	開催回数:14回 延相談人数:88名	開催回数:14回 延相談人数:88名	開催回数:9回(年14回予定) 延相談人数:67名	【現状】 第3金曜日の定例開催を続けてきたことで事業は定着しつつあり、充足率も徐々に伸びてきている。本事業の情報入手手段としては、利用者へのアンケートでは「チラシ」と「市報」という回答が多い。 【課題】 利用者の年代・地域に偏りがあるため、相談を必要としている市民に情報が届くよう、周知方法を検討する。また、開催場所や時間についても、適当か検討する必要がある。
	3	継続	こころといのちのホットライン 平日の日中に相談することが困難な市民を対象に、平日の夜間や休日に電話相談を実施	延件数:8,898件	延件数:9,324件	延件数:15,067件	延件数:9,831件	【現状】 周知が進み相談件数は年々増加しているが、同一相談者から繰り返される電話が多い。 【課題】 相談時間に占める同一相談者から繰り返される電話の割合が多くなっており、電話相談を必要としている人がタイムリーにつながっていない可能性がある。
	4	継続	こころの相談ダイヤル 深夜等の時間帯に、業者委託の電話相談を実施(こころの健康センター、こころといのちのホットラインと合わせ、24時間365日体制の電話相談となる。)平成29年度～回線を1回線から2回線に増設	延件数:1,479件	延件数:2,632件	延件数:2,422件	延件数:1,623件	
事業推進体制	5	継続	自殺対策協議会 自殺防止対策に関わる関係機関・団体等で構成する自殺対策協議会を設置し、自殺総合対策の推進を図る。	開催回数:1回 出席委員数:17名	開催回数:1回 出席委員数:15名	開催回数:3回 出席委員数:51名	開催回数:1回 出席委員数:18名	【現状】 第1次行動計画の数値目標は達成し、平成30年度に第2次行動計画を策定。 【課題】 策定した第2次行動計画に従い、自殺対策事業を実施していく。
	6	継続	若年層における自殺対策協議会作業部会 若年層の自殺の現状や課題等について協議検討を行い、自殺対策の強化を図る。 【平成28年度 検討テーマ】 ・大学生向け人材育成プログラムの開発及び研修会の実施について 【平成29年度 検討テーマ】 ・若年層向けゲートキーパー養成テキストの作成及び研修会の実施について 【平成30年度 検討テーマ】 ・若年層向けゲートキーパー養成テキストを活用した研修会の実施について	開催回数:3回 出席委員数:6名	開催回数:2回 出席委員数:4名	開催回数:2回 出席委員数:4名	—	【現状】 平成28年度に、大学生向け人材育成プログラムの開発及び研修会を実施。平成29年度には自殺予防ゲートキーパー養成のためのテキストを作成し、平成30年度はテキストを活用した研修会を実施している。 【課題】 大学生を対象とした事業の検討をしてきたが、今後は教育委員会等の学校関係者と連携して取り組みを進めていく必要がある。
	7	継続	自殺対策庁内推進会議 自殺防止対策について庁内関係各課で情報を共有するとともに、庁内のネットワークを構築し、自殺対策の強化を図る。	—	—	開催回数:1回 出席委員数:32名	—	【課題】 これまでの取り組みを踏まえ、委員の構成や会議の在り方などを検討していく必要がある。
	8	継続	自殺対策実務者ネットワーク会議 自殺予防対策に取り組む関係機関・団体との連携を強化し、顔の見えるネットワークを構築するとともに、協働できる事業について企画・検討等を行う。	開催回数:6回 参加者数:91名	開催回数:5回 参加者数:73名	開催回数:5回 参加者数:61名	開催回数:3回(年5回予定) 参加者数:38名	【現状】 関係機関・団体がそれぞれに自殺対策に取り組んでいる。また、自殺対策実務者ネットワーク会議として、関係機関・団体と共催で研修会を実施している。 【課題】 研修会等を実施してきたが、今後どのように連携して活動を展開していくか、現状や方針を検討し、取り組みを進めていく。

自殺総合対策事業概要(平成28年度～令和元年度)

事業No.	令和元年度(新規・継続・拡充)	事業名	事業概要	実績				現状と課題
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(11月末現在)	
人材育成事業	9	継続	自殺予防ゲートキーパー養成研修会 ゲートキーパー養成研修会として ・市民向けの研修会 ・大学生向けの研修会 ・教職員向けの研修会(教育委員会と連携) ・若年層の支援者向け研修会 等を実施	大学生向け:2回1コース 参加者数: (実)11名(延)22名  教職員向け:1回 参加者数:約350名	大学生及び養護教諭向け:1回 参加者数:18名  教職員向け:2回 参加者数:123人	「自殺予防のためのゲートキーパー養成テキストを活用した研修会」  薬剤師向け:3回 保健師向け:1回 多職種向け:2回 その他:2回 参加者数:延168名	「自殺予防のためのゲートキーパー養成テキストを活用した研修会」  多職種向け:2回 学生向け:2回 その他:2回 参加者数:延100名	【現状】 自殺予防のゲートキーパー養成研修テキストを作成し、様々な職種・支援者を対象とした研修会を実施している。 【課題】 ・教育委員会と連携した取り組みの検討 ・様々な職種を対象とした研修の実施
	10	継続	自殺対策研修会(医療・福祉関係者向け) 医療・福祉関係者を対象に、自殺防止に関する知識の普及と地域のネットワークの構築を目的に研修会を実施する。	開催回数:1回 参加者数:111名  講演テーマ: 精神科における自殺未遂者支援の実践について  シンポジウムテーマ: 自殺未遂者の方を地域で支えるために～各機関の役割、連携について～	開催回数:1回 参加者数:82名  講演テーマ: パーソナリティ障害、発達障害などで感情調整が困難な人の自殺、自傷行動の理解と支援	開催回数:1回 参加者数:123名  講演テーマ: 妊産婦の自殺予防と産後うつについて	開催予定日:令和2年2月22日  講演テーマ: ギャンブルが破滅をもたらす時-ギャンブル依存症と自殺	【現状】 毎年テーマを決めて実施している。 【課題】 医療・福祉関係者が持つ共通の課題や連携強化等をテーマとし、研修会を継続していく。
	11	拡充	庁内職員向け研修会 市の窓口担当職員を対象に、自殺のリスクの高い人と接する際の「気づき」や「接し方」等について知識向上を図るため、研修会を実施する。	「市窓口担当者等向け研修会」  回数:1回 参加者数:24名  講義テーマ: メンタルヘルスの基礎知識-自殺の危険に気づくために  講義テーマ: 自殺のリスクの高い人への「気づき」や「接し方」について	「市窓口担当者等向け研修会」  回数:1回 参加者数:16名  講義テーマ: うつ病や自殺のリスクのある母とその子どもへの接し方  グループワーク	「市窓口担当者等向け研修会」  回数:1回 参加者数:28名  講義テーマ: 自殺予防のためのゲートキーパーの基本対応  グループワーク	「市窓口担当者等向け研修会」  回数:2回 参加者数:延32名  ＜基礎編＞ 講義:自殺の基礎知識 演習:優先順位付け  ＜応用編＞ 講義:ゲートキーパーについて 演習:説きくらべ等	【現状】 研修会を通じて、お互いの窓口業務の理解にもつながっている。 【課題】 市民と接する窓口業務担当者等、市職員がゲートキーパーとなれるよう、テーマを考え、継続して実施していく。
	12	継続	10代の若者の生きづらさを考える支援者向け勉強会 若年層対策について、現状や問題意識を共有し、それぞれの価値観を理解するとともに、それぞれの関係機関・団体における強みを認識し、支援者同士のネットワークの構築を図るため、若者の支援者向けに研修会を実施する。		開催回数:2回(主催) 第1回:県弁護士会 第2回:新潟市 参加者数:132名	開催回数:3回(主催) 第1回:県弁護士会 第2回:新潟市 第3回:市薬剤師会 参加者数:200名	開催予定回数:2回(主催) 第1回:市薬剤師会 第2回:新潟市	【現状】 自殺対策実務者ネットワーク会議のメンバーからプロジェクトチームを作り、若年層対策について検討した結果、支援者がそれぞれの強みを活かして連携して活動できるよう、ネットワークづくりに重点を置き、若年層対策に関する研修会を実施している。 【課題】 平成29～令和元年度は若年層への支援をテーマに支援者のネットワークづくりに取り組んできたが、これまでの活動や社会の動きを踏まえ、今後のテーマや次の活動内容を検討、実施していく。
普及啓発事業	13		事業場における啓発普及 平成26年度に実施した「小規模事業場におけるメンタルヘルス対策実態把握調査」の結果を基に、啓発資料の作成及び配布を行い、事業場におけるコミュニケーションの促進を図る。 【平成27年度】 職場におけるコミュニケーション促進をテーマに、啓発用ポスター作成及び配布 【平成28～29年度】 同僚のSOSへの気づきをテーマにクリアファイル作成及び配布	・事業場向けクリアファイル作成:10,000枚	・事業場向けクリアファイル配布(各商工会、労働衛生医学協会等)		【現状】 平成29年度は商工会議所、中小企業家同友会、健診機関などの協力を得て、ポスター・クリアファイルを事業場やそこで働く人に配布した。平成30年度は大々的な配布は行わなかったものの、各種研修会等で配布し、啓発を続けた。	
	14	継続	自殺防止街頭キャンペーン 広く市民に自殺予防について啓発するため、自殺予防の啓発グッズの配布や相談窓口の周知を図る。 配布場所:新潟駅(万代口)前広場	1,000セット配布(配布時間:午前8時～)	1,000セット配布(配布時間:午前8時～)	1,000セット配布(配布時間:午前8時～)	742セット配布(配布時間:午前8時15分～)	【現状】 自殺防止について、市民に対して広く周知するため、平成21年度から継続して実施している。 【課題】 市民に対してどのようなメッセージを発信していくのか、検討していく必要がある。
民間団体補助	15	継続	いのちの電話補助金 自殺予防を目的に活動している「新潟いのちの電話」の運営費の一部を補助する。	団体経費の一部補助	同左	同左	同左	【現状】 電話相事業を継続して実施するため、運営費の一部を補助している。